

第13回キャリア教育アワード大賞

デザイン思考で考える 富士通SDGsプログラム

令和6年1月25日

富士通株式会社

総務本部 コミュニティ推進室

赤松志寿代



- 1 はじめに
- 2 これまでの取り組みおよび経緯と計画
- 3 プログラム概要と特長
- 4 提供教材
- 5 実績および今後の展開



はじめに

本社
東京

創立
1935

代表取締役社長 CEO
時田隆仁

事業概要
サービスソリューション
ハードウェアソリューション
ユビキタスソリューション
デバイスソリューション

(注) 1. 2023年3月末現在

(注) 2. 2022年度連結概要 (2023年3月31日終了会計年度)

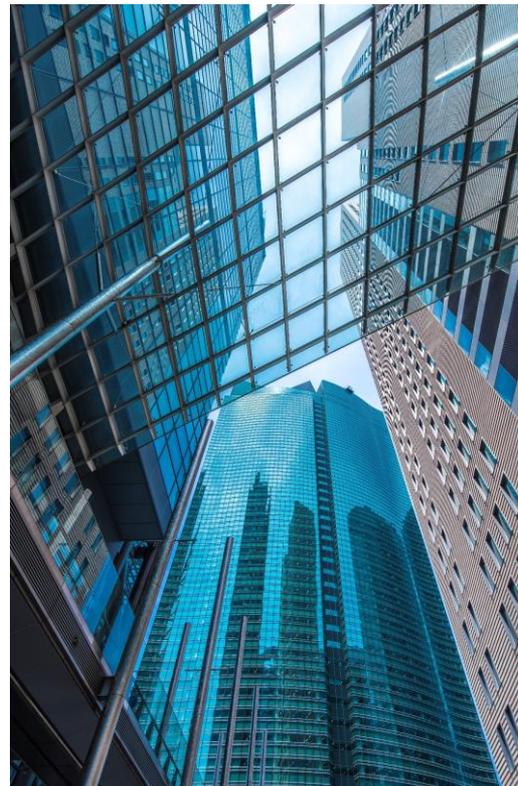
従業員
124,000 人

売上収益
3兆7,137億円

営業利益
3,356億円

研究開発費
1,095億円
売上収益比3.0%

上場証券取引所
東京 (コード 6702)
名古屋



Our Purpose

わたしたちのパーパスは、
イノベーションによって社会に
信頼をもたらし、世界をより
持続可能にしていくことです。

サステナビリティ経営における重要課題

GRB（グローバルレスポンシブルビジネス）

富士通のサステナビリティ経営における重要課題をGRBと決めました。

これはパーパスの実現に向けて、当社が責任あるビジネスを行うためのプラットフォームです。6つの課題を設定し、それぞれにありたい姿と2025年度に向けた目標（KPI）を定め活動しています。



人権・多様性



ウェルビーイング



環境



コンプライアンス



サプライチェーン



コミュニティ

コミュニティ活動とは

重要なステークホルダーの一つである地域社会とグローバルで協力し、**社会が抱える課題解決に取り組み価値創造をめざす活動**

ありたい姿

社員一人一人が幅広いステークホルダーとの**共働・共創**を通して**社会課題への共感性を高めて活動に取り組み、社会にスケールあるインパクトをもたらすこと**で、富士通の成長機会を創出し、パーパス実現に貢献している

2025年度目標

コミュニティ活動に対する社員の**マインドセット変革・組織風土醸成**、及び**社会へのインパクト創出**

KPI：コミュニティ活動に参加した社員… 従業員数の20%

重点注力分野



環境



教育



健康・ウェルビーイング



人権・多様性

これまでの取り組みおよび経緯と計画

これまでの教育支援活動の取り組み

2010

社員講師制度を導入

2020

「データを活用して効果的な省エネを考えよう」
をスタート

2006

社会貢献活動として
環境出前授業をスタート

2016

第7回キャリア教育アワード
(大企業の部) 優秀賞受賞

2021

「デザイン思考で考える
富士通SDGsプログラム」
(受賞プログラム) をスタート

学習指導要領の改訂

学校現場でのSDGsへの興味・需要が高まっていた



教員の声

「生徒が主体的に考えるために、実社会の事例から学び、働く人に話を聴く機会の創出が難しい。」

オンライン授業のニーズの高まり

(2020年春、学校現場で取り組む様々な活動が中止)

- ・新型コロナウイルス感染症による影響
- ・GIGAスクール構想の前倒しによる影響



KPI (教育効果)

生徒アンケート：デザイン思考の考え方が、**課題解決に役立つ**との回答を90%以上に設定

プログラム概要と特長

デザイン思考で考える富士通SDGsプログラム

対象 中学1年生～3年生

内容 中学生の視点で、企業が取り組む様々な社会課題解決に挑戦する

授業時間 6時限（事前授業、オンライン授業、事後学習）

事前授業 (2時限)

自分たちなりに
デザイン思考で
考える

オンライン授業 (2時限)

各学校の発表



+

富士通講師から
実際の事例を聞く



事後学習 (推奨)

学んだこと
デザイン思考を
いかす

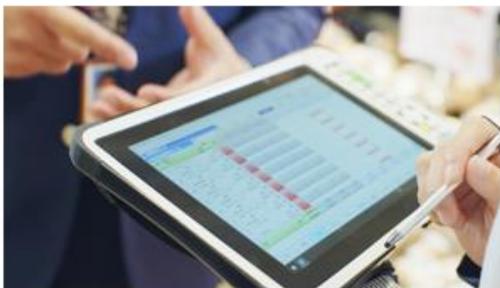
プログラムの特長

- ① 富士通の社会課題解決の取り組みから学ぶ
- ② デザイン思考とテクノロジーでアイデアを考える
- ③ 異なる立場、多様な視点で考える

富士通の社会課題解決の取り組みから学ぶ

✓ 題材は3つ、中学生に身近な社会課題をテーマに

サービス（小売）



共生（情報）

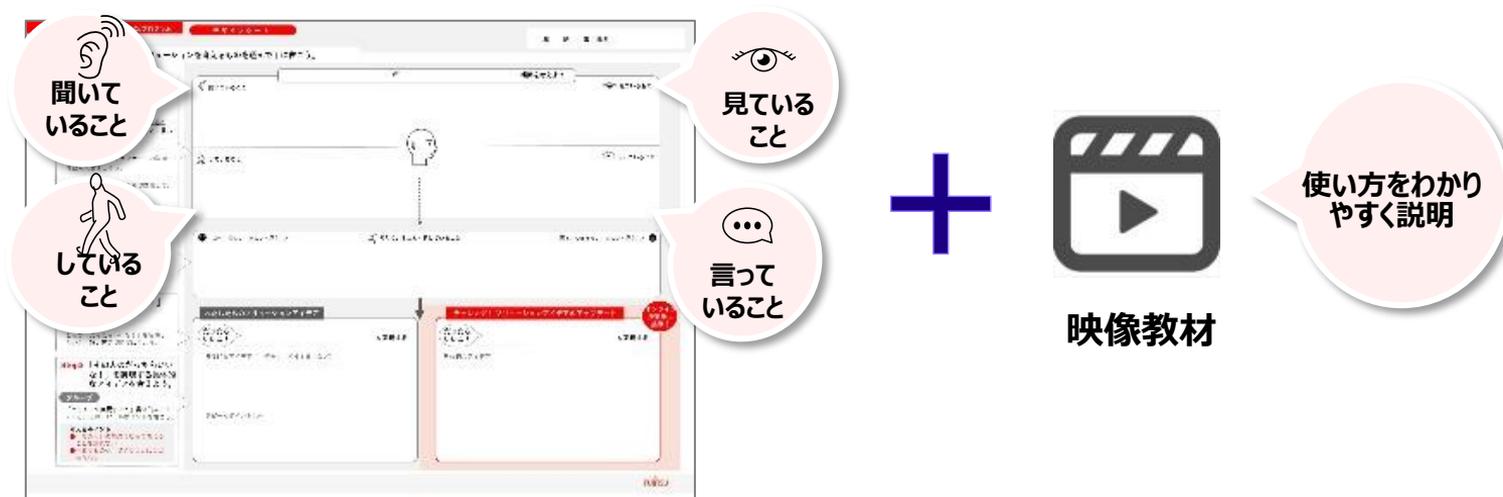


まち（交通）



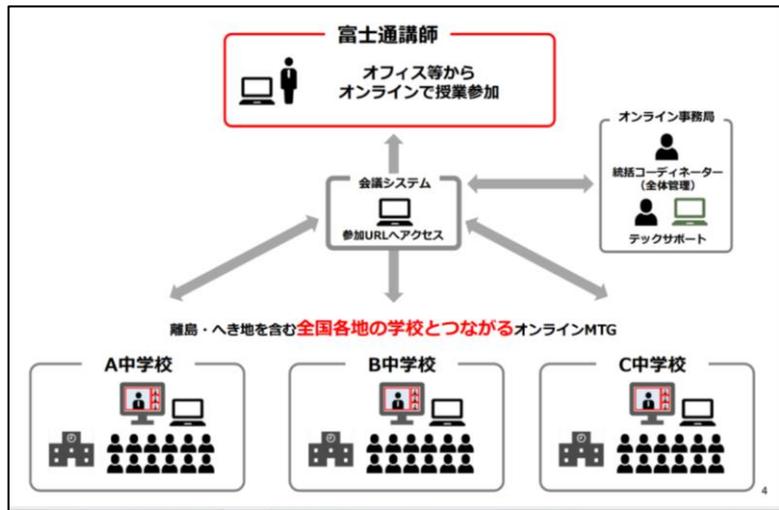
デザイン思考とテクノロジーでアイデアを考える

- ✓ 思考ツール「デザインシート」を使い、「デザイン思考」で課題解決のアイデアを考える
- ✓ 実社会でグローバルな視点でテクノロジーを活用して、課題解決に取り組んでいる富士通の事例を紹介する



異なる立場、多様な視点で考える

✓ 富士通と他の学校にアイデアを発表



提供教材

教師用資料

指導案

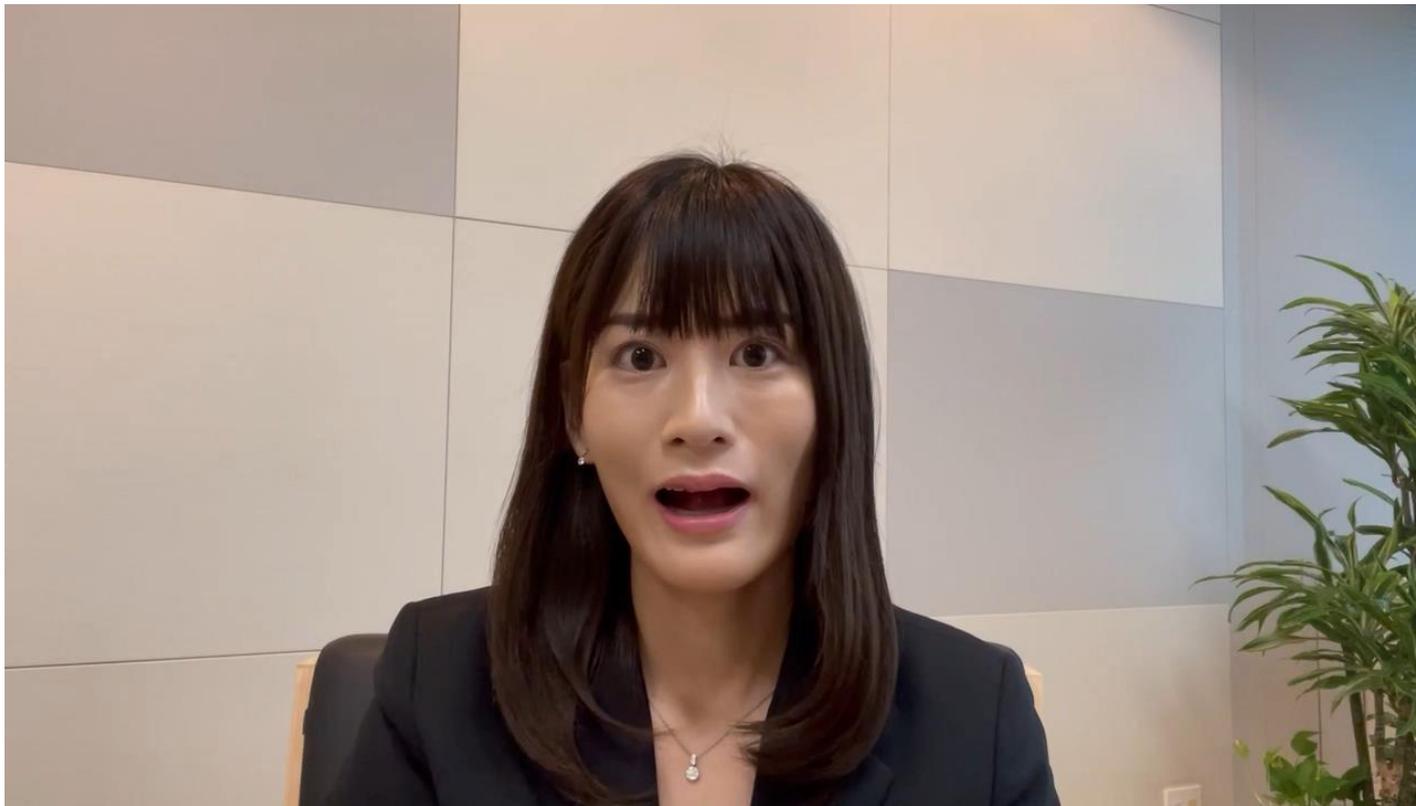
This screenshot shows a detailed lesson plan for a design thinking course. The main title is "デザイン思考で考える 富士通 SDGsプログラム". The plan is structured into several sections: "1. 学習目標 (学習目標)", "2. 学習内容 (学習内容)", and "3. 評価 (評価)". It includes various diagrams, text boxes, and icons related to design thinking and SDGs. The content is presented in a clear, organized manner, suitable for a teacher's reference.

生徒用資料

映像教材 ワークシート



This screenshot shows a student worksheet for a video lesson. The main title is "デザイン思考でソリューションに挑戦〜その人のだったらいな!〜を実現しよう". The worksheet is structured into several sections: "1. 学習目標 (学習目標)", "2. 学習内容 (学習内容)", and "3. 評価 (評価)". It includes various diagrams, text boxes, and icons related to design thinking and SDGs. The content is presented in a clear, organized manner, suitable for a student's reference.



実績および今後の展開

3か年すべての実施校を対象に生徒アンケートを実施。 プログラムにおける教育効果の測定・分析（延べ2108人）

Activity

Output

Outcome



事前授業

オンライン授業



- ・グループでアイデアを考える
- ・富士通講師の話を聞く
- ・他校のアイデアを聞く

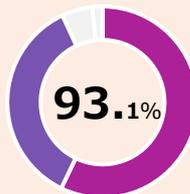


デザイン思考で アイデアを考える

- ・生徒が自分たちなりに考える
- ・多様な視点を獲得

KPI達成!!

デザイン思考の考え方が、
課題解決に役立つと答えた
生徒が90%以上。



実践



行動変容につながる

自分たちで課題を設定し、 デザイン思考をいかして考える

事後学習 実践事例

■兵庫県の中学校
(2021年)
市内の中学校と連携し
「防災パートナーシップ
協定」を締結。

■宮崎県の中学校
(2022年)
自分たちなりのアイデアを
考え、市役所に訪問し、
プレゼン。

事後学習のアウトプットが自治体への提案につながったケース

住み続けられるまちづくりを — 松原市に提案しよう —

大阪府の中学校



オンラインでのアドバイスを取り入れ、市へ提案

だったらいいな！わたしたちのまち — 防災パートナーシップ協定 —

兵庫県の中学校



避難所の「だったらいいな！」

市と防災パートナー
シップ協定を締結

先生の声

- ・まず自分で考えて、メンバーで共有して、話し合いをする中で、**自分たちで考える大変さと同時に生み出せる楽しい経験をさせることができました。**
- ・単に学ぶだけの**講義型でない**というところ、**学ぶ前に自分達の知識を絞り出してアイデアを考え、普段出会わない人（他校、講師）に発表する機会**を与えてもらえることに価値があるし、**教員自身も学びになりました。**



生徒の声

- ・デザイン思考の手法を使うことで、**従来の枠組みにとらわれずに問題を解決できる可能性を感じました。**
この授業を通して、**SDGsへの関心が深まり、将来的にも社会に貢献できる仕事について考えるきっかけ**となりました。



今後の展開

2024年以降は、対面型授業のニーズが増えることを想定し、オンライン・対面型によるハイブリッド運用を展開する予定です。

今般、栄えある賞を頂きました本プログラムを活用し、これからもキャリア教育を支援を行ってまいります！

ご清聴ありがとうございました！

